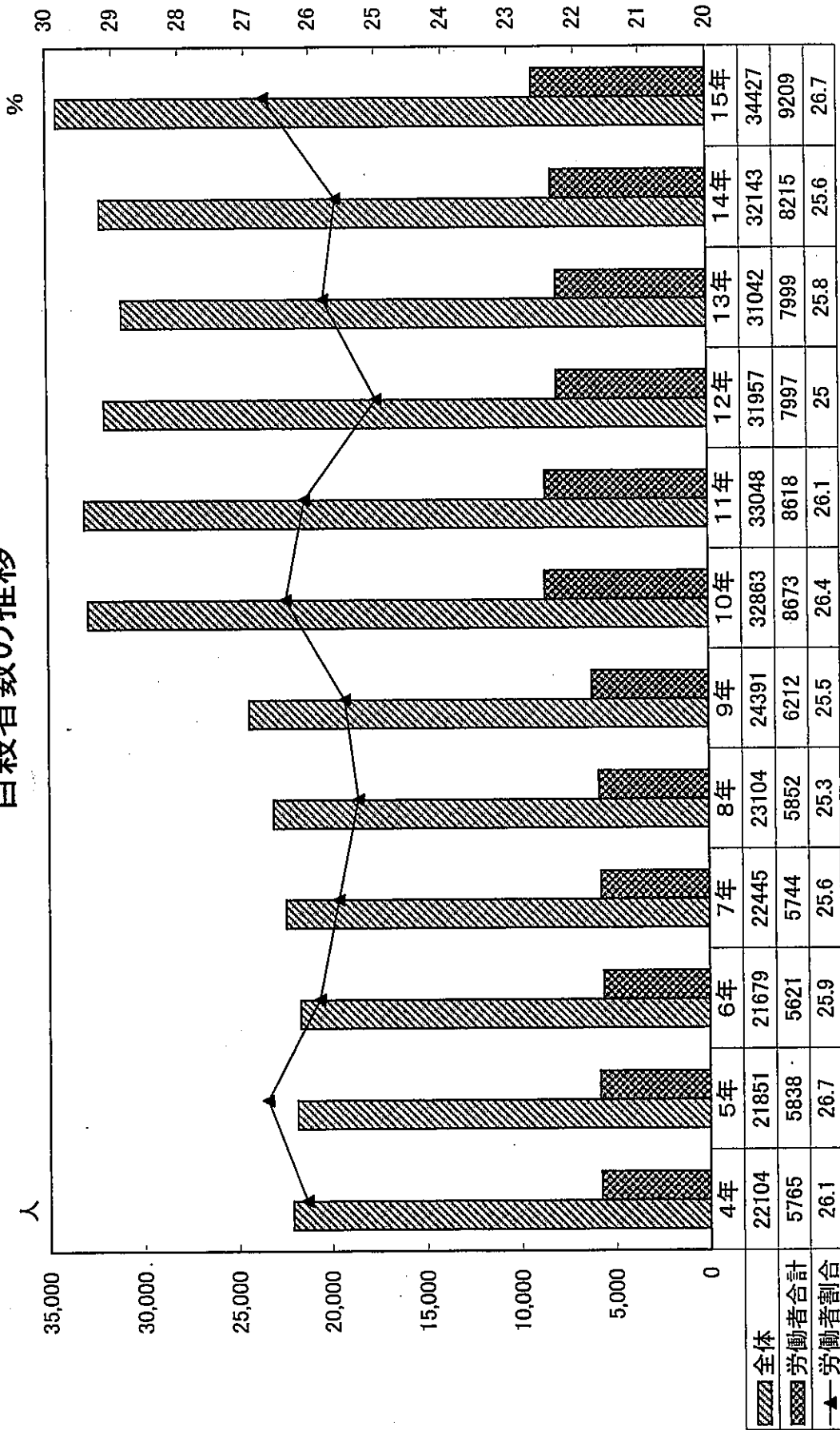
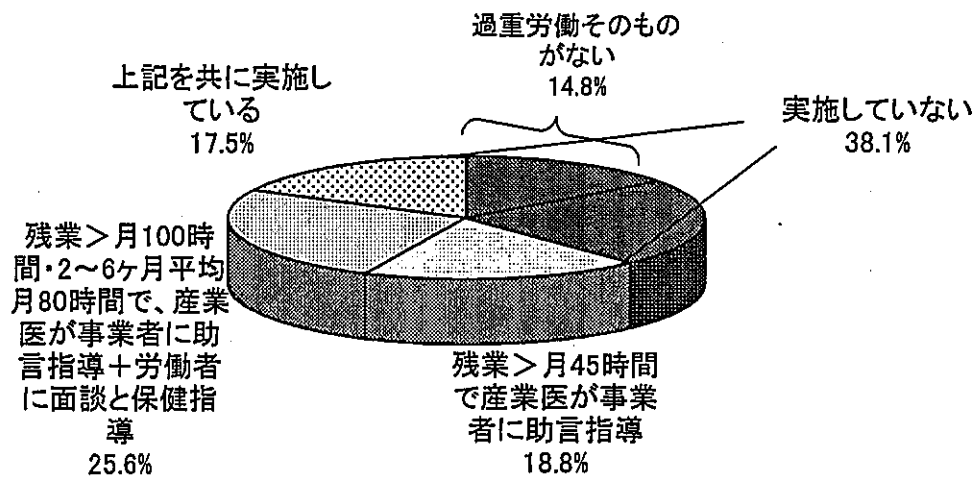


自殺者数の推移



資料出所: 警察庁「自殺の概要資料」

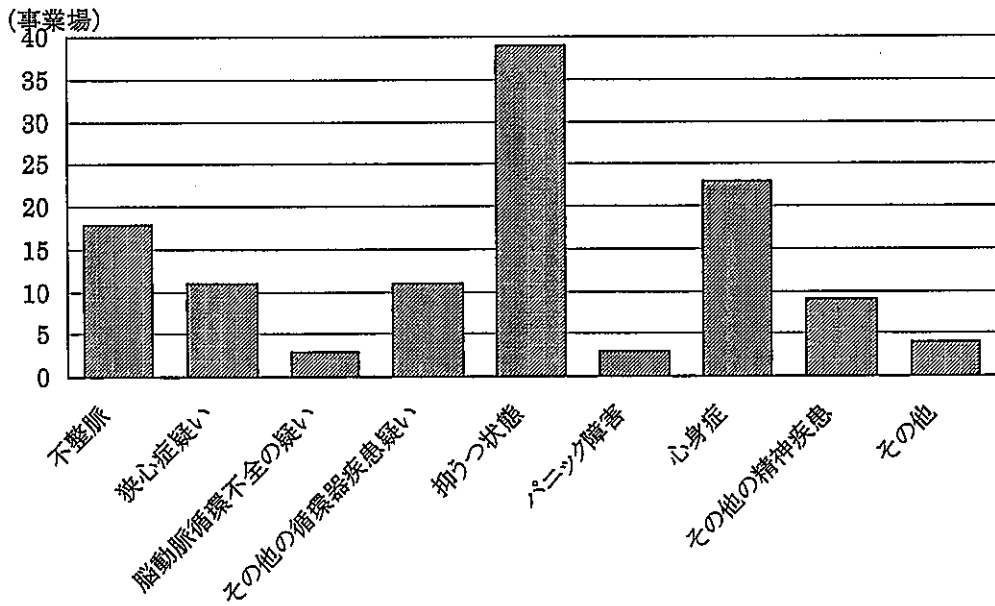
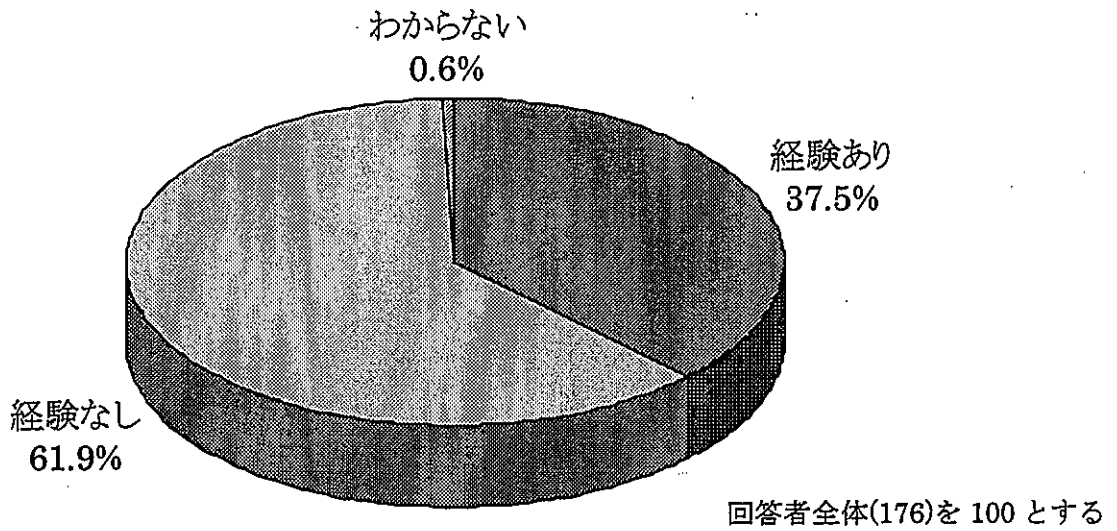
総合対策に基づく過重労働対策の実施



回答者全体(223)を100とする

資料出所:平成15年度厚生労働科学研究費補助金(特別研究事業)
職場における過労死・自殺予防に関する研究
企業における「過重労働による健康障害防止のための総合対策」の
効果に関する研究(分担研究者 西村重敬)

過重労働者の医療機関への紹介経験



回答数 ; 66

資料出所 : 平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金 (特別研究事業)
「職場における過労死・自殺予防に関する研究」
企業における「過重労働による健康障害防止のための総合対策」の効果に関する研究 (分担研究者 栗原伸公)

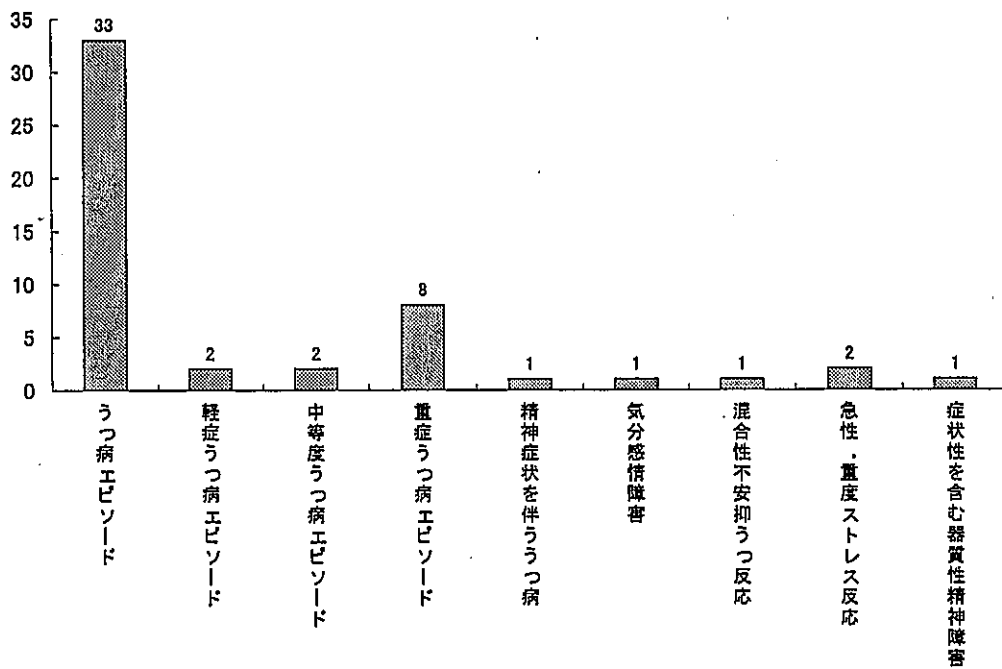
脳・心臓疾患にて労災認定された事案の健康管理状況

健康診断の実施					健康診断未実施・不明	
	異常有り		事後措置なし・不明	異常なし	不明	
	事後措置あり					
25	13	2	11	11	1	15

資料出所:「脳心臓疾患労災認定事案の分析」

自殺により労災認定された事案の精神障害部会診断

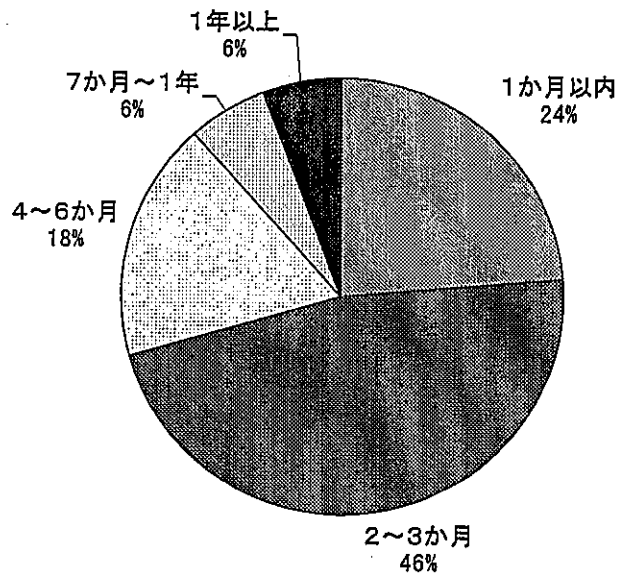
部会診断	時間外労働時間	44時間以内	45～75時間	80～99時間	100時間以上	計	%
うつ病エピソード		5	5	6	17	33	64.7%
軽症うつ病エピソード					2	2	3.9%
中等度うつ病エピソード			1		1	2	3.9%
重症うつ病エピソード			2		6	8	15.7%
精神症状を伴うつ病			1			1	2.0%
気分感情障害			1			1	2.0%
混合性不安抑うつ反応					1	1	2.0%
急性・重度ストレス反応		1	1			2	3.9%
症状性を含む器質性精神障害		1				1	2.0%
計		7	11	6	27	51	100.0%



資料出所：平成15年度委託研究 精神疾患発症と長時間残業との因果関係に関する研究
 (主任研究者 日本産業精神保健学会理事長 高田 昂)
 「労災認定された自殺事案における長時間残業の調査」
 (東邦大学佐倉病院精神神経学研究室 黒木 宣夫)

自殺により労災認定された事案の発病から死亡までの期間

発病から死亡までの期間	計	%
1か月以内	12	23.5%
2～3か月	24	47.1%
4～6か月	9	17.6%
7か月～1年	3	5.9%
1年以上	3	5.9%
計	51	100.0%



資料出所：平成15年度委託研究 精神疾患発症と長時間残業との因果関係に関する研究
 (主任研究者 日本産業精神保健学会理事長 高田 勲)
 「労災認定された自殺事案における長時間残業の調査」
 (東邦大学佐倉病院精神神経学研究室 黒木 宣夫)

自殺企図の兆候

労働者の自殺の兆候に誰かが気づいていた13例のうち

誰が	家族	10
	上司	1
	その他	2
どのようにして	本人からの訴え	8
	異常行動	2
	自殺をほのめかす言動	3
そのときの対応	保健師へ相談していた	1
	精神科受診を説得中であった	3
	精神科受診をさせた	2
	重大と考えていなかった	1
	励ました	2
	その他	4

資料出所:平成15年度厚生労働科学研究費補助金(特別研究事業)
 職場における過労死・自殺予防に関する研究
 自殺企図の要因の解析に関する研究(分担研究者 黒木宣夫)